

学年	高校3年	教科	英語	科目	英語 コミュニケーションⅢ	単位数	6
教科書名	LANDMARK English Communication III (啓林館)			副教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 (Z会出版) ・速読英単語 必修編 (Z会出版) ・Listening Platform 2 (いいずな書店) 		
コース・クラス	N進理系						

I. 目標

- 基礎学力到達度テストにおいて長文問題の正答率 70%を目指す。
- 卒業時までには実用英語検定 2 級以上及び CEFR B1～B2 レベルの英語力の習得を目指す。
- 継続的にリスニングの演習を行い、実践的な出題形式と難易度の問題に取り組み、基礎学力到達度テストにおいてリスニング問題の正答率 80%を目指す。

II. 授業のねらい

1) 聞くこと・読むこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文などから、必要な情報を聞き取り、話や文章の展開や概要、要点や話し手・書き手の意図を把握することができるようになる。
- ② 知らない単語や表現が含まれていても、前後の文脈から内容を把握できるようになる。
- ③ 重要構文は完成した和訳ができるようにしつつ、全体の文章は左から右へと読み解き、限られた時間の中で多くの文章を読むことができる速読力の向上を促す。

2) 話すこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文など事前の準備することで、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えることができるようにする。
- ② 教科書の文章表現を自分の言葉にして英語で説明できるようにする。

3) 書くこと

教科書に出た重要構文の文法表現を用いた表現を活用し、独自の文章を書けるようにする。

III. 授業の進め方

- 1) 単語学習の指導方法として「速読英単語 必修編」を用いて、英文を読むことを通じて語彙力の定着を図る。毎週 SHR において英単語テストを実施し、そこで短文の読解問題も出題することで、語彙力と速読力を実践的に確実に身に付けていく。授業内では、音声データを使っての英単語・英文の音読活動を行い、定期的に短文空所補充問題の小テストを実施していく。
- 2) 基礎学力到達度テストをはじめ、各試験を見据え英問英答の数を増加し、本文の言い換え表現や、読解力の技能の向上も図る。「英文速読ドリル 10minutes」を使用し、週に 2 回程度実戦形式の問題に取り組む。
- 3) 副教材「Listening Platform2」と、その付録「ディクテーションノート」を活用し、より多くの情報を聞き取り、全体の内容把握をすることに慣れるようにする。
- 4) 接続詞やディスコースマーカーを有効に利用し、文のつながりを正確につかむことを意識していけるようにする。
- 5) it, them, one などの代名詞が何を指しているのかを常に意識していけるようにする。
- 6) 毎週基礎学力到達度テストの類似問題に課題として取り組み、実践力を付けていけるようにする。

IV. 学習上の留意点

- 1) 未知の語の意味を前後の文脈から推測したり、背景となる知識を活用したりしながら読むようにすること。
- 2) 教科書、基礎学力到達度テストの過去問題、「英文速読ドリル 10minutes」等を使用して、毎週数題配布される長文読解課題に、時間を意識しながら取り組み、間違えた問題を理解できるまで復習すること。
- 3) 「速読英単語 必修編 (Z会出版)」を活用し、語彙力を定着させること。また、文章の中でどのように単語が使われているのかを読み解き、長文を読むことに慣れていくこと。
- 4) リスニング授業の復習として、音声アプリ「いいずなボイス」(音声速度を0.6~1.2倍に変更可能)を用いて繰り返し聞くことで、各シチュエーションに慣れるための練習をすること。

V. 定期試験

- ・以下の予定で、教科書 (LANDMARK English Communication III) の範囲から出題する。その他に、副教材 (英文速読ドリル 10minutes Level 2・速読英単語・Listening Platform 2) の指定範囲から出題する。

1 学期中間試験： LANDMARK Lesson 1~2

1 学期期末試験： LANDMARK Lesson 3~4

2 学期期末試験： LANDMARK Lesson 5~7

※授業の進度により定期試験の試験範囲は変更する場合がある。

- ・授業で扱った箇所は、全体の6割程度出題する。
- ・初見問題 (実力問題) を4割程度出題する。
- ・基礎学力到達度テストと同じ形式の問題を数題出題する。
- ・リスニングについては、授業内で確認テスト、まとめのテストを実施する。

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	① LANDMARK Lesson 1 『Incredible Edible』 ・リスニング Lesson1～2 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 1.～5.	<ul style="list-style-type: none"> ・英単語テスト ・小テスト ・中間試験 ・期末試験 ・長文読解課題 	<p>【リーディング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力到達度テスト及び大学共通テストレベルの英単語を習得する。 ・言い換え語句などを有効に利用し、英文を読める力をつける。 ・毎単元の音読を重視し、基礎学力到達度テストをはじめ他の外部試験にも対応できるようにする。 ・上記に加え、ディスコースマーカ―やパラグラフの構成をつかめるようになること。 ・英文を読み解く上で正しく因果関係をみつけることや、複数の事柄がどのような意図を持って対比されているかなど読み取ることができる。 ・それぞれのパラグラフで述べられている主張やその根拠を読み取ることができる。 ・短い時間である程度の長さの英語の文章を読み、筆者の言いたいことを理解し、問題を解く上で必要な情報を見つけることができる。 <p>【リスニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「買い物等の情報」「計画等の流れ」に関する知識習得。 ・「物の位置」「物の描写」「言い換え」に関する知識習得。 ・「話の概要」「数字・金額等の情報」「応答表現」「話の要旨」に関する知識習得。 ・「道順」に関する知識習得。 ・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得。
	5	② LANDMARK Lesson 2 『Blood is Blood』 ・リスニング Lesson3～5 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 6.～8.		
	6	③ LANDMARK Lesson 3		
	7	『Saving Our Treasures from the Sea』 ・リスニング Lesson6～9 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 9.～11.		
		④ LANDMARK Lesson 4 『Men's Brains vs. Woman's Brains』 ・リスニング Lesson10 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 12.～14.		
		※適宜、基礎学力到達度テストの過去問や入試問題にも取り組む。		
		◎1週間の授業の内容は、読解4コマ、リスニング1コマ、基礎学対策演習1コマとする		

一 学 期	9	⑤ 基礎学力到達度テスト 対策 ・リスニング Lesson11～13 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 15.～17.		
	10	⑥ LANDMARK Lesson5 『Political Correctness』 ・リスニング Lesson14～17 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 18.～20.	・英単語テスト ・小テスト ・期末試験 ・長文読解課題	【リーディング】 ・スキミングを習得し Key word をつかむ訓練を積んで長文を効果的に読解できる力をつける。 ・毎単元の音読を重視し、基礎学力到達度テスト及び大学共通テストに対応できるようにする。 ・上記に加え、スキヤニングを習得し、長文を効果的に読解できる力をつける。 【リスニング】 ・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得。 ・「内容推測」に関する知識習得。 ・「音声・知覚情報の統合」「要点のメモ」「言い換え（発展）」「情報取舍選択」に関する知識習得。 ・「立場と主張」「指示理解」「内容推測（発展）」「音声・知覚情報の統合（発展）」に関する知識習得。 ・「要点のメモ（発展）」に関する知識習得。
	11	⑦ LANDMARK Lesson6 『Jose Mujica: The World's Poorest President』 ・リスニング Lesson18～20 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 21.～23.		
	12	⑧ LANDMARK Lesson 7 『Where Did dogs Come from?』 ・英文速読ドリル 10minutes Level 2 24.25. ◎1 週間の授業の内容は、読解 4 コマ、リスニング 1 コマ、基 礎学対策演習 1 コマとする		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。